



行政職員や農業者を対象に鳥獣被害対策講座（イノシシによるカンショ等の被害対策編（行方市））を開催しました。イノシシの生態や食性、侵入防止柵の役割や管理のポイントを学んだ後、実習で参加者は会場に張られた電気柵の間違い探しを行い、正しい修繕方法を学んだほか、ワイヤーメッシュ柵の設置方法を学びました。

講座名 茨城県鳥獣被害対策講座  
「イノシシによるカンショ等の被害対策編（行方市）」  
日時 令和6年12月19日（木） 午前10時から午後3時まで  
場所 行方市北浦公民館講義室1・2・3、グラウンド  
出席者 49名

### 受講生の声（抜粋）

- ・実物を見ながら侵入防止柵の設置・メンテナンスを学べたのがよかった
- ・侵入防止柵の設置後の管理の大切さについて理解できた。
- ・イノシシによる被害対策の講義内容も参考になった。

### 講師のコメント

侵入防止柵は、設置して終わりではなく、維持管理を行うことで継続的に効果が発揮される。特に電気柵は、通電されていない状態ではただの紐であるため、電圧チェッカーを使用して全ての段に一定以上の電気が流れているか確認すること。また電線の高さを一定に保つこと（地形の凹凸に合わせて張れているか、潜り抜けられる水路にワイヤーを垂らせているか）などを定期的に確認し、適切な状態に保つことが重要。